

令和6年度 国立病院機構金沢医療センター附属看護学校 学校関係者評価について

越野 まゆみ

本年度、学校関係者評価委員会に出席させていただき、外部評価者として気づいたことを述べさせていただきます。

令和6年度、看護基礎教育において3年課程ではカリキュラム改正後最初の卒業生を送り出され、評価の節目でもあるかと思います。人生100年時代に向け多様性・複雑性に対応した看護を創造するために、教育の強化は不可欠といわれるなかで様々な変化に対応するべく、今回の自己点検・自己評価が有効に機能していると思います。課題を丁寧に分析し共有されたうえで改善策がとられ、成果が上まっていることが資料から確認できました。母体病院をはじめ多くの実習施設との連携を大切にすることで医療現場の複雑性や変化を実践的、多角的にとらえ教育活動が検討されていると思います。東海北陸グループ共同の活動も生かされ、組織内の目標達成に向けた協働の力の大きさが基盤にあることを強く感じています。

今後も組織的、継続的な検討を重ねられ、さらに社会のニーズに応えられる質の高い看護基礎教育が実践されることを期待いたします。

以下、項目別に何点か述べさせていただきます。

教育理念・目的・目標

教育理念・教育目的は国立病院機構の理念が反映され学習の指針となるよう具体的に示されています。教員間のもとより、実習施設関係者との共有に務められており一貫した教育活動の基盤が整えられていると思います。在学生また入学希望者への説明は機会を的確にとらえ意図的に行われており、明確な指針となっていることが確認できます。

教育課程

教育理念を受け、学習の順序性、関連性を十分に考え教育課程が編成されているとともに、関連機関との連携が教育効果を高めていると思います。

学生の意向、意見、学びを反映した評価がWebを有効に活用することで速やかに行われ、学生を主体にした教育課程が柔軟に編成されていると思いました。

教育活動・教育指導のあり方

教育活動について、授業の公開、教員間での相互評価など切磋琢磨しながら主体的におこなわれており教育活動の質を高めようとする意識が職員全体で共有され実践されていると思います。丁寧な評価を重ねながら改善されていることも確認できます。教員の主体的な日々の姿勢が学生の主体性を育てているとも感じました。

近年、学生の背景や価値観も多様化し指導の難しさもあるところですが、ガイダンスを丁寧に行うとともに、チューター制度を導入するなど学生のニーズを細やかにとらえた支援がされていると思います。

組織・管理運営

教員それぞれの役割が明確にされ、適宜調整を行いながら効果的な教育活動がすすめられるよう取り組まれていると思います。教員の時間管理は、業務も多く難しさがあると思いますがシステムの整備等、組織的に善処されていると思いました。

学生の受け入れ

少子化の影響や看護系大学の増加に伴い入学生の確保が厳しくなるなか高校教諭への学校説明会、オープンキャンパス、個別の学校見学、さらに電話での紹介等、県外にも視野を広げる積極的な活動により成果をあげていることが確認できます。また入学生の確保という点だけではなく看護への関心を高め広げる活動にも結び付いていると思いました。